作成日：2018年6月27日

作成者：特定非営利活動法人UNOICHI実行委員会

**2018年度 特定非営利活動法人UNOICHI実行委員会**

**活動計画案**

《はじめに》

2014年に誕生した任意団体UNOICHI実行委員会は地元の高校生・大学生・移住者・Uターンからなり、宇野港を拠点に瀬戸内海が持つ魅力を世界に届ける活動目標とした団体です。

2018年4月、『海×港×船×繋り』をスローガンに取り組んできた活動実績に加えて、『文化×教育×観光』をプラスし、展開していく為に、『特定非営利活動法人UNOICHI実行委員会』として生まれ変わります。

《特定非営利活動法人UNOICHI実行委員会について》

瀬戸内海には大小合わせて727の島々があり、そして、大小の港が存在します。

一年を通して降水量は少なく、温暖な気候ということもあり、海と山の幸に恵まれたこの地域の中に宇野港は存在します。

島と海に寄り添い、暮らしてきた歴史があるこの港に集う世界中の人たちは、こうした瀬戸内海の魅力を、心で感じています。

『海に寄り添う人』と『海の魅力に触れる人』が出会う場所・モノなどを提供し、『ほんの少し、日々の生活が楽しくなる』そんな心躍る暮らし、自然と地域の人たちの生活に溶け込む、手作り感を私たちUNOICHI実行委員会は大切にし、世界へご提案していきます。

共に活動する高校生、大学生ら若い世代には彼らが持つ個性+感性を引き伸ばせるよう『枠にとらわれない自由な発想・場所』《行いたい事や想い描く事を自発的に形に変える場所》を提供していきます。

《特定非営利活動法人UNOICHI実行委員会が目指す活動》

新しいUNOICHI実行委員会が目指すのは、『海が教えてくれる人々の幸せに気づく』事業です。

1：宇野港ならびに瀬戸内海に訪れ、暮らしてみたいと思える場所であることを世界に届ける

2：世界中から宇野港ならびに瀬戸内海に人々が集まり、にぎわいを生む

3：次世代を担う子供や若者が宇野港ならびに瀬戸内海の歴史・暮らしを知り、気づき、海と港を舞台とした繋がりに好奇心を持ち、行動を起こせる場をつくる

《若い世代との関わり》

意欲的、主体的に参加いただける方または学校側の想いが形となり、参加される方のスキルアップに繋がる場をご提供させていただきます。

～UNOICHI実行委員会の若い世代～

・宇野港ならびに瀬戸内海の魅力などを世界に届ける

・海外の方と笑顔でコミュニケーションを取れる

・新しいことに意欲的にチャレンジする

・経営、地域活性を考える

・人が持つ五感（みる・きく・さわる・かぐ・あじわう）を最大限に発揮し、共感できる

《事業計画案》

◆宇野港で行うイベント企画・実施

◆宇野港ならびに瀬戸内海を舞台に活躍できる若い世代の育成

◆宇野港に入港する客船入港時の乗船客対応、イベント企画・実施

◆海の素晴らしさ、大切さを世界にお届けする情報発信

◆宇野港以外の港、島で行うイベントプロデュース、動向調査・分析

◆海を擁する地域での講演活動

《2018年度主な活動スケジュール》

・2018年3月17日・・・宇野港インフォメーションセンター運営再スタート

・2018年4月1日・・・特定非営利活動法人UNOICHI実行委員会スタート

・2018年8月19日・・・フェリーを貸し切ったイベント実施

・2018年10月20日・・・客船入港イベント実施

・宇野港インフォメーションセンターでのイベント企画立案・実施　※12月まで※

・宇野港以外の港、島でのイベント企画立案・活動など

《2017年度主な活動実績》

主なイベント開催内容

◆客船入港イベント『 Voyage of Night3』

2017年4月16日（日）12時～18時 　来場数：13000人

◆客船入港イベント『 SHIP’S LOG2』

2017年6月18日（日）14時～17時 　来場数：793人

◆夏の夜のUNOICHI

2017年7月17日（月・祝）16時～21時　来場数：3325人

◆日本財団 海と日本PROJECT presents SUMMER STYLE2

2017年7月30日（日）12時～14時／16時～18時 来場数：950人（1便+2便合計）

◆秋のUNOICHI

2017年10月30日（日）※台風22号接近に伴う悪天候の為開催中止

◆WINTER STYLE

2017年12月16日（土） ※10時～15時　宇野港インフォメーションセンターにて来場数：95人

＜プロフィール＞

特定非営利活動法人UNOICHI実行委員会

理事長　小倉　理史（おぐら　まさふみ）

1973年　香川県直島町生まれ

玉野市立玉野商業高等学校卒業

卒業後株式会社トンボ入社。

流通事業部に所属し、物の流れや市場動向スキルを得る。

７年後大阪へ。

株式会社ＢＭＧファンハウス、株式会社ワーナーミュージック・ジャパンのレコード会社で勤務。営業として中国、四国、九州、沖縄地方を担当。

2011年、退職し、地元玉野市へ。

2013年、瀬戸内国際芸術祭こえび隊として宇野港エリアで活動を経て、玉野市民・移住者・高校生の若い世代を中心にUNOICHI実行委員会を立ち上げる。

2014年7月14日、岡山県玉野市宇野港を舞台に『UNOICHI海が見える港のマルシェ』をスタートさせる。

2018年4月、任意団体から特定非営利活動法人UNOICHI実行委員会に生まれ変わる。

《受賞歴》

2017年中国地方観光振興アワード受賞

日本港湾協会企画賞受賞

岡山県備前県民局 平成２９年度地域づくり推進賞受賞

福武教育文化振興財団 第17回谷口澄夫教育奨励賞

平成２９年度備前県民局地域づくり推進賞

**《特定非営利活動法人UNOICHI実行委員会スタッフ》**

理事長・・・1名、副理事長・・・2名、理事・・・8名

高校生メンバー・・・8名

大学生メンバー・・・6名（内3名は武蔵野美術大学生）

2018年度UNOICHI実行委員会イベント後援名義一覧

【主催】特定非営利活動法人UNOICHI実行委員会+UNOICHI Tokyoチーム（武蔵野美術大学生）

【共催】岡山県立玉野高等学校／香川県立高松商業高等学校／岡山県立岡山工業高等学校デザイン科／岡山県立玉野光南高等学校／玉野市立玉野商工高等学校

【特別協力】RSK山陽放送／OHK岡山放送／両備グループ／パナソニック株式会社LUMIX CLUB PicMate

【後援】 国土交通省中国地方整備局／国土交通省中国運輸局／岡山県／岡山県教育委員会／香川県教育委員会／玉野市／玉野商工会議所／直島町／直島町教育委員会／玉野市教育委員会／瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会／瀬戸内国際芸術祭たまの☆おもてなし推進委員会／公益社団法人玉野市観光協会／宇野港航路誘致推進協議会／うのずくり実行委員会／山陽新聞社／朝日新聞岡山総局／読売新聞岡山支局／毎日新聞岡山支局／NHK岡山放送局／RNC西日本放送／KSB瀬戸内海放送／TSCテレビせとうち／倉敷ケーブルテレビ／FM岡山／FMくらしき／FM香川／月刊タウン情報おかやま／西日本旅客鉄道株式会社岡山支社／四国汽船株式会社／株式会社トンボ

【協力】香川県小豆島中央高等学校／STAR＊project ／香川大学直島地域活性化プロジェクト／岡山県立岡山東商業高等学校／山陽学園大学・山陽学園短期大学／中国短期大学／就実大学

【助成】 日本財団 海と日本PROJECT2018／公益財団法人福武教育文化振興財団

【補助】 みなとオアシス